

第3期京田辺市まち・ひと・しごと創生有識者会議（第2回）会議要旨

日時 令和6年11月27日（水） 午前10時00分～午前11時30分

場所 京田辺市役所 301 会議室

配布資料一覧	
次第	
資料1	将来展望人口案
資料2	総合戦略骨子案
参考資料	第1回有識者会議議事要旨

- 1 開会
- 2 座長あいさつ
- 3 将来展望人口について
- 4 第3期京田辺市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子案について
- 5 その他

○将来展望人口について

【各委員からの意見】

- 本市の出生率は府や国の平均値よりも高いが、府の出生率は関西圏の中で最も低い。
- 出生率が高まっても、若年世代の人口が減っているため、出生数は増えにくい。
- 学生の多い街ではあるが、本市に限らず学生結婚の事例はほぼ聞いたことがない。
- 若年層にとっては経済的要因が重要なのでは。移住後にも持続可能な生活や子育てを見据えての貯蓄等、先を見通せる安心感が大切。
- 女性が働きながら出産もするとなると、身体にかかる負担が大きい。
- 離婚率が高まっているが、以前より出会える環境は充実してきている。

○第3期京田辺市まち・ひと・しごと創生総合戦略骨子案について

【各委員からの意見】

- 市民満足度について、「どちらでもない」との回答が多くなっている。
- 図書館を含め、複合型公共施設へのニーズが強い。現在の状況が分かるような仕組みがあれば、子どもたちや市民の関心を惹きつけられる。
- 公共施設がオンラインで予約できるようになるとありがたい。
- 市の中心部に宿泊施設があれば。
- ふるさと納税の返礼品は最終製品であれば企業側からの評判も良いようである。
- 学校教育や学力について、全市での平均値を高めるほか、ある学校に特化し、その校の学力を高めるという方法も考えられる。各校の特徴を踏まえ、効果的な施策を打てれば。
- サービス内容の面で、幼稚園と保育園の差が小さくなってきている。
- 保育や教育も住む場所を選択する際の要素の一つになる。
- 延長保育等、働きながら育児をするための支援やサービスがあれば助かる。
- 若いうちに妊娠や出産等、身体のことを学ぶ機会があれば良かったと強く感じる。